



千葉市新庁舎整備

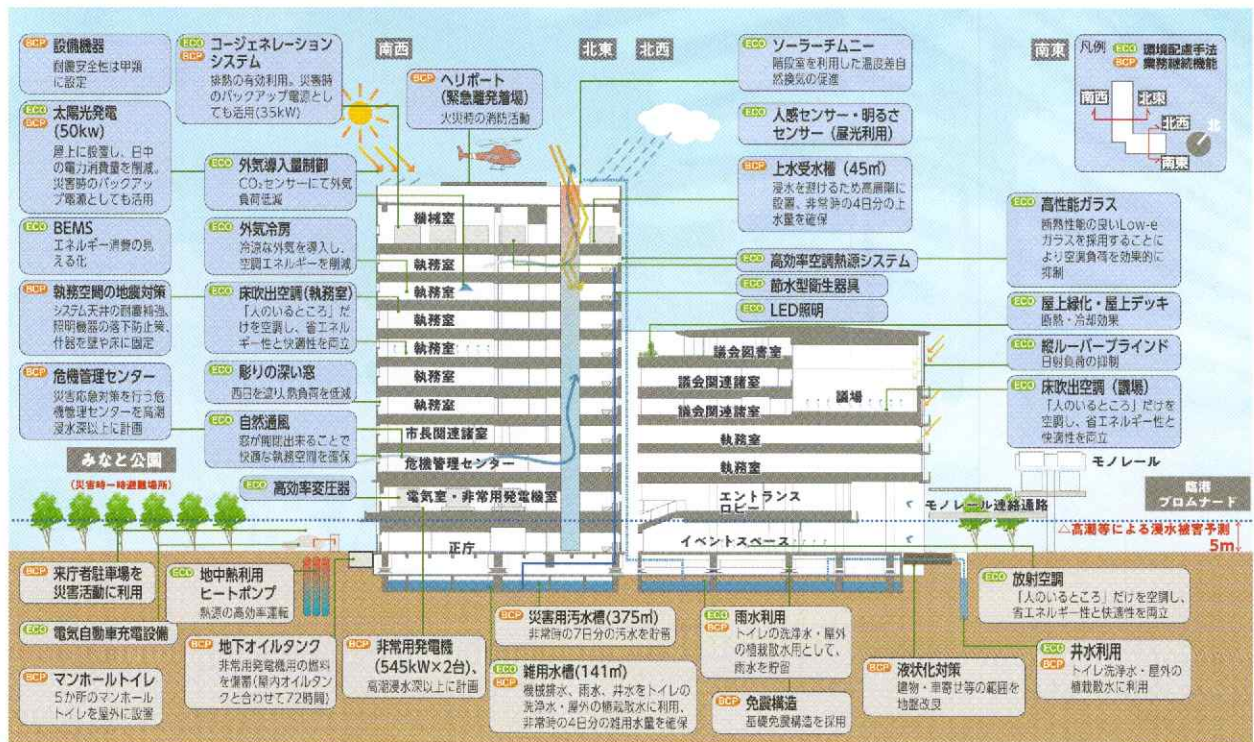
Chiba City New government building

環境性能

ZEB Ready 認証取得

ZEB（ゼブ）とは、Net Zero Energy Building の略称で、快適な室内環境を保ちながら高効率設備等により省エネルギーに努め、太陽光発電等の再生可能エネルギーをつくることで、同規模の標準指標ビルと比較し、一次エネルギー（天然ガスや石炭などの自然界から得られるエネルギー）の年間消費量が大幅に削減されている建築物のこと。

ZEB Ready: 一次エネルギーの年間消費量が50%以上削減（再生可能エネルギーを除く）



BEMS

庁舎運用の最適化や職員の省エネ活動を啓発するため、エネルギー使用状況を「見える化」できるシステムを導入します。



コージェネレーションシステム

排熱を利用した高効率の空調設備等の導入により電力購入量の削減や省エネルギーに寄与します。



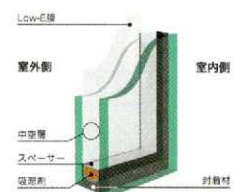
太陽光発電

出力50kWの太陽電池パネルを設置し、発電した電力は、日中の消費電力削減の他、交通遮断時に帰宅困難者の携帯電話充電等に活用します。



高性能ガラス

日射による熱負荷を軽減し空調効率を高めます。



画像提供: AGC

地中熱・雨水・井水利用

地中熱を利用した空調設備を設置し省エネルギーに寄与します。雨水・井水をトイレの洗浄水や植栽の散水に利用します。

総合防災拠点機能

市民生活の安全安心を確保するため、地震・風水害等の自然災害をはじめ、あらゆる危機事案に対し、適切な対応を図れるよう、危機管理センターを整備



被災直後も災害対応等の業務が継続できるよう新庁舎を計画

インフラ遮断対策

インフラ遮断後も非常用発電機が72時間連続運転可能な燃料を備蓄する計画



非常用発電機



屋内オイルタンク

電気設備等の浸水対策

高潮時の浸水対策として主要な設備機器を2階以上に配置



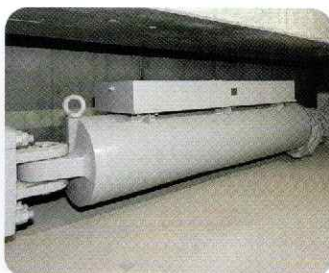
機械室

免震構造

基礎免震構造の採用により、躯体への被害を軽減するとともに家具等の転倒を防止



アイソレーター（積層ゴム支承）



オイルダンパー



防災センター

緑をつなぐシティーホール



《《みなと公園

さくら広場》》

1 みなと公園



2 プロムナードの街路樹に溶け込む景観



3 壁面緑化



4 屋上緑化



5 さくら広場 (R6年度完成予定)



「まち」と「みなと」をつなぐ シティーホール



～人が集う仕掛け～

Plan 1

市民ヴォイドでのイベント開催

セレモニー



展示会



まちかど広場



Plan 2

市民の憩いの場

縁側テラス、屋上庭園、さくら広場等にベンチを設置



縁側テラス



屋上庭園



さくら広場

Plan 3

来庁者が利用しやすい フロア構成

来庁者の多い機能を低層棟に配置



議場・傍聴席



千葉みなと市民センター



市政情報の発信（情報ステーション）

フロア構成

新庁舎は、建物が高層棟と低層棟で構成され、低層棟には来庁者の多い部署やレストラン、売店、市民センターなどがはいります。



高層棟

11階	書庫、機械室
10階	教育委員会事務局、 選挙管理委員会事務局、 人事委員会事務局、監査委員事務局
9階	保健福祉局
8階	市民局、保健福祉局、こども未来局
7階	環境局、経済農政局、教育委員会事務局
6階	総合政策局、財政局
5階	総務局、保健福祉局
4階	市長室、副市長室、都市局
3階	危機管理センター、総務局、建設局、水道局
2階	レストラン、防災センター、 電気室
1階	正庁、会計室、金融機関、守衛室

低層棟

7階	議会図書室、屋上庭園
6階	議長室、副議長室、議会事務局(傍聴受付)
5階	議場、議員控室
4階	都市局
3階	建設局
2階	行政資料室(旧市政情報室)、 千葉みなと市民センター(旧市役所前市民センター)
1階	総合案内、売店、イベントスペース、情報ステーション

来庁者の多い執務室、市民センター、議会エリアをモノレール駅、来庁者用駐車場からアクセスしやすい臨港プロムナード側の低層棟に配置。
その他の本庁機能をみなと公園側の高層棟へ配置。

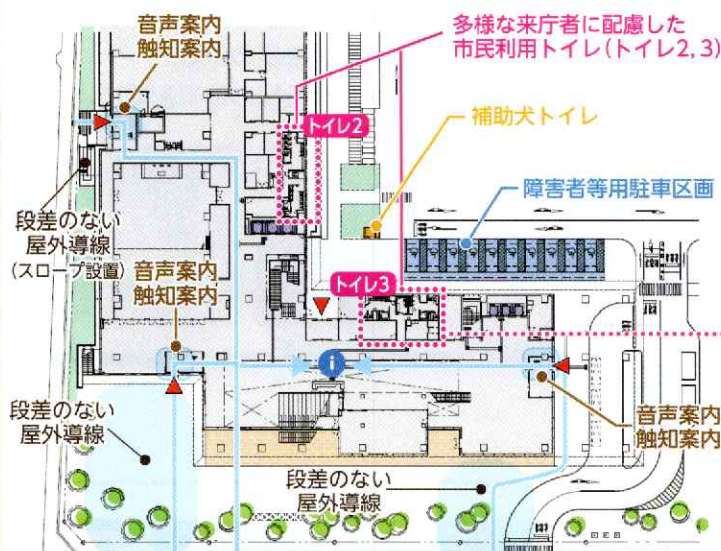
建築概要

工事名称	千葉市新庁舎整備工事
発注者	千葉市
設計施工	大成・鶴沢建設共同企業体
構造	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造(基礎免震構造))

建築面積	6,439.69 m ²
延床面積	48,888.74 m ²
階数	地上 11 階
高さ	52.27m
総事業費	295億円(うち工事費268億円)

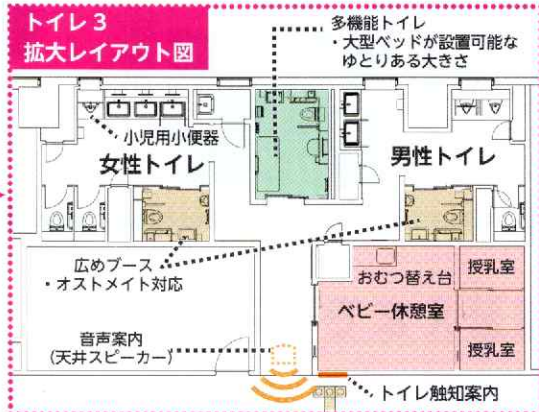
ユニバーサルデザイン

年齢、障害の有無、性別、国籍に関わらず安全に利用できる庁舎を目指し、
障害者団体等からの意見も聞きながら整備しています。



凡例

- 市民利用トイレ
- 視覚障害の方への誘導
- エレベーター
- 障害者等用駐車区画(屋根付)
- 補助犬トイレ
- 建物出入口



分かりやすいサイン計画

ピクトサイン等で分かりやすく表記します



誘導設備の設置

歩道から総合案内まで誘導ブロックを敷設するとともに音声案内装置やトイレブースに火災をお知らせするフラッシュライトを設置



多様な来庁者に配慮したトイレ

多機能トイレは、車椅子・オストメイト対応に加え、フィッティングボードやベビーチェアなどを配置



ベビー休憩室

乳幼児やお子様連れの方に配慮し、来庁者の多くが往來する1,2階にベビー休憩室や女性トイレに小児用小便器※を整備



特別傍聴席

乳幼児やお子様連れの方に配慮し個室の傍聴席を整備



補助犬トイレ

(R6年度完成予定)



小児用小便器は1,2階の市民ヴォイドに面したトイレに設置

庁舎建替えの経緯

現庁舎の課題1 防災面

- 耐震性能の不足
- 非構造部材等の耐震性不足
- 災害時の業務継続性の不足



現庁舎の課題2 分散化・狭隘化

- 執務室の分散化・狭隘化
- 借上げ料の負担



現庁舎の課題3 老朽化

- 建物・設備の老朽化
- バリアフリー化の制約
- 環境性能の不足
- 重要設備の地下配置による
浸水の恐れ



建替えまでのステップ

東日本大震災

H23～

- ・ 本庁舎のあり方検討
- ・ 本庁舎整備基礎調査
- ・ 第三者評価

基本構想 フェーズ

H26～

- ・ 1万人アンケート
- ・ パブリックコメント
- ・ 基本構想策定

基本計画 フェーズ

～H27

- ・ パブリックコメント
- ・ 基本計画策定
- ・ 基本設計方針策定

基本設計 フェーズ

H28～

- ・ 基本設計作成
- ・ シンポジウム

設計・施工フェーズ DB 事業方式

R1～

- ・ 実施設計書作成
- ・ 執務室検討
- ・ 着工(R2.6～)
- ・ 移転計画作成

- ・ 新庁舎整備調査特別委員会(市議会)
- ・ 千葉市本庁舎整備検討委員会

R5年1月末

新庁舎竣工引き渡し

庁舎の変遷

初代

使用期間 大正10年～
所在地名 長洲

- ・ 洋風2階建
- ・ 延床面積約 456㎡
- ・ 市人口約 33,000人～92,000人



2代目

使用期間 昭和15年～
所在地名 長洲

- ・ 桃山式純和風2階建
- ・ 延床面積約 2,590㎡
- ・ 市人口約 92,000人～295,000人



3代目

使用期間 昭和38年～
所在地名 長洲

- ・ 地下1階、地上6階、塔屋3階
- ・ 延床面積 14,625㎡
- ・ 市人口約 295,000人～480,000人



4代目

使用期間 昭和45年～令和5年
所在地名 千葉港

- ・ 本庁舎（地上8階、地下1階、塔屋3階）、議事堂棟（地上3階（一部4階、地下室））
- ・ 延床面積 20,888㎡（議事堂棟を含む）
- ・ 市人口約 480,000人～980,000人



5代目

使用期間 令和5年～
所在地名 千葉港

- ・ 地上11階
- ・ 延べ床面積 48,888.74㎡
- ・ 市人口 約980,000人



【発行・お問い合わせ窓口】

千葉市財政局資産経営部新庁舎整備課

千葉市中央区千葉港1番1号 千葉市役所

電話：043-245-5044

mail：shinchosha.FIA@city.chiba.lg.jp